

日頃からの温かいご支援とご指導に心より感謝申し上げます。

昨年日立市は、市制施行85周年、ならびに旧十王町との合併20周年という記念の年でありました。様々なイベントや式典を通して、これまで築き上げてきた歴史や文化、さらには人とのつながりの大切さを再認識することができました。

そして、本年4月からは、新たな地方創生の取り組みが始まります。日立市は、市と日立製作所による「デジタルを活用した次世代未来都市の実現に向けた共創プロジェクト」を着実に推進してまいりますので、引き続きのご支援をよろしくお願いいたします。

白石 敦



ニュース

日立市のランドセルが新しくなります

市は、昭和50年度から小学校へ入学する新小学1年生へのお祝いとして「日立市オリジナルランドセル」を贈呈しています。

これまでのランドセルは、性別に関係なく黒・赤の2色から選択できましたが、近年のジェンダー平等の考え方から性別を意識させない色や学校で使うタブレットの収納スペースを求める多くの声があったため、保護者や学校長、男女共同参画の関係者などで検討してきました。

その結果、令和7年度からは、性別を意識させないキャメル色に変更するとともに、大容量で使いやすくするなど、機能性を高めた仕様に変更した新しい「日立市オリジナルランドセル」を贈呈します。



特徴① 大容量の収納ポケット



特徴② 全ての方向に反射材



特徴③ 丈夫な持ち手や底びょう



共創プロジェクトの専用ホームページを開設しました



日立市と日立製作所による共創プロジェクトの活動について、より多くの方に興味・関心を持っていただくため、専用ホームページを開設しました。

取り組みの進捗状況やイベント情報などが掲載されています。右記のQRコードからアクセスしてください。



定例会報告

令和6年 第4回定例会開催

令和6年第4回（12月）定例会が、12月5日から12月19日まで開催されました。

令和6年度 一般会計補正予算が可決されました。

一般会計予算が6億2,100万円追加補正されました。主な事業は以下の通りです。

■ 本庁舎安全対策事業・・・（5億450万円）



◆令和5年台風13号の影響により被害を受けた本庁舎の浸水対策工事を実施

■ 南高野調理場施設整備事業・・・（2,350万円）



◆設備の改修工事を実施
1. 空調設備改修工事
2. 真空冷却機改修工事

■ 北部・南高野調理場運営経費・・・（1,200万円）



◆米飯価格の上昇に伴い、給食用の賄材料費を増額

■ 地域密着型サービス施設等の

民間施設整備費補助事業・・・（770万円）



◆民間事業者における認知症高齢者グループホームの非常用自家発電設備整備に係る費用を補助

■ 少子化対策事業・・・・・・・・・・・・（710万円）



◆不妊治療費助成の申請件数の増加に伴い、扶助費を増額

■ その他・・・・・・・・・・・・（6,620万円）

◆光熱水費等の増額
◆職員人件費や契約差金の整理 他

会派「民主クラブ」の一般質問について

12月9日に行われた一般質問の一部を抜粋して紹介します。

1. 令和7年度の予算編成について

【質問】令和7年度は、「日立市災害復旧基本計画」の着実な推進や初年度となる「第3期日立市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の取り組みを加速させる年であるが、予算編成の考え方を伺いたい。

【財政部長】令和7年度の予算編成においては、市民の安全・安心な暮らしを確保するため、「日立市災害復旧基本計画」の事業などに取り組みながら、災害に強いまちづくりを推進していく。また、「第3期日立市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の取り組みは、『ひたちらしさを際立たせる』『女性・若者応援』『デジタルの力を活用』の視点を踏まえ、各種施策を推進していく。特に『デジタルの力を活用』については、本市と日立製作所による共創プロジェクトをより一層推進し、行政と民間のノウハウを融合させながら、本市の活性化と持続可能なまちづくりの実現を図っていく。

2. デジタル郵便の導入について

【質問】本市としては、郵便料金の値上げに伴う郵送コストの削減が大きな課題である。他自治体で導入しているマイナンバーカードの活用も含めたデジタル郵便を導入すべきではないか。

【市長公室長】デジタル郵便については、情報漏洩防止の観点から、通知を間違いなく本人に届ける確実性を担保することが重要な課題であるため、様々なシステムの検討を進めている。マイナンバーカードを活用したデジタル郵便は、利用希望者がスマートフォンに専用アプリをインストールして、マイナンバーカードと連携することで、高度なセキュリティのもと、市民への通知を個別、かつ、確実に届ける仕組みであるため、他自治体の事例を参考にしながら、操作に抵抗の少ない子育て世帯を対象にした段階的な導入も含めて、更なる検討を進めていく。

2035年の「日立市の公共交通の将来像」を描きました

日立市と日立製作所による共創プロジェクトにおいて、2050年の遠い将来を見据えながら、2035年をターゲットにした「日立市の公共交通の将来像」を描きました。

将来像の実現に向けて取り組む10個の施策と各施策で実現したい姿は、次の通りです。

① オンデマンド型の自動運転カー



小学校の統廃合が進み、通学距離が伸びた児童が、安全に無理なく通える

② 最寄りのモビリティハブまでをつなぐ高齢者向け次世代モビリティ



高齢者でも安心安全に自宅から最寄りの交通結節点まで移動が可能

③ 車両がしたい場所まで届くデリバリー型カーシェア



自家用車を持たないことにした家族が好きな時にシェアカーを自宅まで呼べる

④ 多様な公共交通の経路を検索する統合アプリ



公共交通を利用する方が、簡単にドア to ドアの最適なルートを知ることができる

⑤ 自動運転を活用した移動型店舗



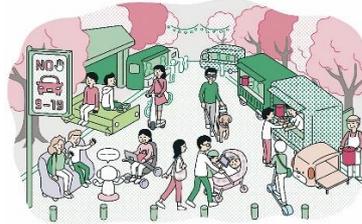
忙しく買い物に行けない方が、必要なものを必要な時に購入することができる

⑥ ハンズフリーの乗降車&決済



乗換えを面倒に感じる観光者がハンズフリーで快適・ストレスフリーに移動可能

⑦ 次世代モビリティと共存するウォークブル空間



日立駅前が更ににぎわい、老若男女誰もがふらっと出かけ、散歩を楽しめる

⑧ 既存の公共交通と連携した通勤者向け次世代モビリティ



通勤者が乗換え待ち時間もなくなり、渋滞も緩和され、ストレスなく出勤可能

⑨ 移動サービスを集約したモビリティハブ



誰もがより便利にストレスなく移動でき、ハブを中心に人々の交流が盛んになる

⑩ 交通ネットワーク/モビリティ管理



モビリティ利用者、歩行者とともに、意識せずに安全に移動することができる

トピックス

『実はこれもゼロカーボン』の取り組みについて

市では、「日常生活の中にある、こんな行動も脱炭素化につながる」ということに気づいていただくための啓発事業として『実はこれもゼロカーボン』に取り組んでいます。その取り組みの一つである地産地消は、地域で生産された農水産物を、その生産された地域内において消費することで、地域活性化だけでなく、CO₂排出量の削減につながります。

日常生活の身近なところから、脱炭素化につながる取り組みをお願いします。



▲ご協力いただいている店舗に設置してある「のぼり旗」

活動報告

【10月】

- ・ふれあい運動会
- ・吹上荘三世代文化祭
- ・久慈地区スポーツフェスティバル
- ・おおせ秋祭り

【11月】

- ・日立市・十王町合併20周年記念式典
- ・SGAJ 日本ステンドグラス協会展
- ・久慈ふくしまつり
- ・ひたちシーサイドマラソン
(給水ボランティア)
- ・ふるさと坂下元気まつり

【12月】

- ・日立市議会 第4回定例会
(12月5日~12月19日)
- ・ひたち次世代モビリティフェス
- ・応急手当救命講習(救急救室)
- ・叙勲・国家褒章受章者記念品贈呈式

●SGAJ 日本ステンドグラス協会展

初めて日立市で開催されたSGAJ 日本ステンドグラス協会展には、協会の会員や一般公募の入選作品のほか、100年以上前のアンティーク作品などの色彩豊かに細やかな装飾が施された作品が展示されていました。



●応急手当救命講習(救急救室)

AED(自動体外式除細動器)は、既に公共施設へ設置していましたが、令和6年5月、市内コンビニエンスストア全店にAEDが設置されましたので、全議員で心肺蘇生法、およびAEDの使用方法などについて講習を受けました。



不要品のリユース(再利用)を推進しています

市は、各家庭で不要になった家財や家電などを市場で循環させ、粗大ごみの排出を抑制させるため、民間のリユース事業者と協定を締結しました。不要品を捨てる前にリユースを検討してみませんか。詳細は右記のQRコードからアクセスしてください。

